

【中期目標期間評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
Ⅳ	中期目標を上回っている	目標の達成状況が100%超
Ⅲ	おおむね中期目標どおり達成している	目標の達成状況が90%超100%以下
Ⅱ	中期目標を下回っている	目標の達成状況が60%超90%以下
Ⅰ	中期目標を大幅に下回っている	目標の達成状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価	評価委員会の検証	
			自己 評価	評価 提案 意見
01	1 医療機器の計画的な更新・整備 この地域で提供可能な急性期医療を推進するため、中期目標の期間における更新及び整備計画を策定し、医療機器の計画的な更新・整備を進める。 医療機器の整備及び更新に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるとともに、リース等を含めた最適な導入形態を検討する。 また、これらの医療機器の持つ能力を十分引き出せるような技術の取得及びレベルアップができるような体制を整備する。測定機器の校正など精度管理を徹底する。 2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保 より質の高い医療を安定的に提供するため、医師、看護師、薬剤師等医療従事者の確保、定着を図る。 特に、医師の勤務条件を緩和する	* 医療の物的、人的な質向上に関する事項 医療水準を維持・向上させるためには、医療機器の整備が必要であり、主要な高額医療機器の保有状況及び更新時期等について、整備計画を作成、院内委員会等で確認し計画的な更新・整備を進めている。高額な機器については、補助金等の活用を図ることを条件に、更新・整備を進めた。 医師については、医師募集エージェントへの登録（インターネット等の活用）を行うことにより、医師確保に努めた。加えて、医師事務作業補助者を充実させ、医師の業務負担の軽減を図った。また、常勤医不在の診療科（脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科）及び常勤医不足の診療科については、岐阜大学病院・岐阜県総合医療センター等からの支援医師（非常勤）により、診療体制を確保して診療を実施し、地域県民ニーズに対応した医療の推進を図っている。 看護部においては、看護の質の向上と拘束時間の短縮を目的に全ての病棟において新たな看護方式「PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）」を導入するなど、看護師の負担軽減を図っている。また、法人化のメリットである弾力的な職員採用を行い、看護体制の維持に必要な看護師・看護補助者等を確保した。 PNS 看護体制の補完として、院内の部署間で相互支援を行う取組みを進めることで、職員数の減少を補った。また、プラチナナースをそれぞれの経験を活かせる部署に配置し、長く働ける工夫を行った。 なお、看護師の再就職支援者研修について、年2回の開催を計画したが、参加者はなかったため、県看護協会ナースセンターが主催する看護職員等就業促進研修事業への参加、就職ガイダンスへの参加、院内ポスターの掲示、下呂市が発行する機関誌への掲載等により、引き続き再就職を支援する。(●) より質の高い医療の提供に必要なコメディカルの確保に取り組んでおり、薬剤師の確保について、HP への掲載、実習生の受入れ、就職ガイダンスへの参加、随時募集の実施や大学へのPR 等様々な取組みを行っているが、薬剤師の欠員（1人）が充足できない状態が続いている。今後も引き続き薬剤師の確保に取り組んでいく。(●) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成に関しては、協力型の臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修（1ヶ月）」について、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の連携を図り、臨床研修医の受入れと指導体制の充実を図った。	Ⅲ	CT装置の稼働件数が増加している（有効利用）。 大学病院に医師派遣を依頼したり、業者を使用して医師確保に努めているが、人口減少地域において、従前と同様の診療科を持つ診療体制では必要とされる効率の良い医療の実施は不可能だと思います。思い切って選択と集中をすべきだと思います。

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価	自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																																																												
				評価 提案	意見																																																																																																																																											
	ため医師確保と医師定着化の取組として、次の事項を実施する。 ・下呂温泉病院勤務医師、岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置している地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成 ・定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の再雇用 ・医師募集エージェントへの登録 ・医療ニーズに柔軟かつ迅速に対応できる非常勤医師の活用 ・医師の業務負担の軽減を図るため、医師事務作業補助者の充実 ・地元出身者や地元関係者への働きかけ 看護師負担の軽減のため、ポーター制度の継続、パートナーシップ・ナーシング・システム（PNS）の定着及び看護補助者の適正配置など支援体制の充実を図る。また、看護体制維持に必要な看護師数の確保を図るため、ワーク・ライフ・バランス（WLB）の推進、再就職支援者研修及び学校訪問などに取り組む。 薬剤師確保の取組として、次の事項を実施する。 ・薬学部のある大学教員や薬学生との交流や行事などへの参加の推進 ・地元出身者及び地元関係者への働	看護職の専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、認定看護師等看護の専門性を高める特定行為の資格取得を促進した。 ○ 更新・整備を行った高額医療機器（予定価格 2,000 万円以上）の稼働件数 <table><tr><th></th><th>整備年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th></tr><tr><td>内視鏡システム(上部)</td><td>H25</td><td>1,144</td><td>1,334</td><td>1,209</td><td>1,177</td><td>1,411</td></tr><tr><td>X-TV 透視診断装置</td><td>H25</td><td>372</td><td>395</td><td>310</td><td>289</td><td>325</td></tr><tr><td>MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）</td><td>H25</td><td>2,922</td><td>2,244</td><td>1706</td><td>1,741</td><td>－</td></tr><tr><td>手術用顕微鏡システム</td><td>H28</td><td>5</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>内視鏡システム(下部)</td><td>H29</td><td>511</td><td>651</td><td>519</td><td>561</td><td>580</td></tr><tr><td>ガンマカメラ</td><td>H30</td><td>74</td><td>129</td><td>137</td><td>170</td><td>160</td></tr><tr><td>全身用 X 線 CT 装置</td><td>R2</td><td>15</td><td>567</td><td>647</td><td>3,476</td><td>5,494</td></tr><tr><td>回診用 X 線撮影装置</td><td>R3</td><td>－</td><td>204</td><td>496</td><td>508</td><td>410</td></tr><tr><td>血管撮影装置</td><td>R3</td><td>－</td><td>2</td><td>64</td><td>54</td><td>39</td></tr><tr><td>MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）</td><td>R5</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>0</td><td>1,984</td></tr><tr><td>X-TV 透視診断装置</td><td>R6</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>659</td></tr></table> ※H26、27、R1 及び R4 年度は高額医療機器の整備実績なし ※回診用 X 線撮影装置の R3 年度稼働件数は、R3 年 9 月以降の実績 ※血管撮影装置の R3 年度稼働件数は、R4 年 3 月のみの実績 ※MRI（R5 年度整備）は R6 年 4 月からの稼働のため、R5 年度は実績なし ○ 医師、看護師、コメディカルの職員数 <table><tr><th>項目</th><th>元年度初</th><th>R2 年度初</th><th>R3 年度初</th><th>R4 年度初</th><th>R5 年度初</th><th>R6 年度初</th><th>増減 (元→R6)</th></tr><tr><td>医師</td><td>30 名</td><td>30 名</td><td>30 名</td><td>27 名</td><td>31 名</td><td>30 名</td><td>0 名</td></tr><tr><td>（うち非常勤）</td><td>(3 名)</td><td>(3 名)</td><td>(4 名)</td><td>(5 名)</td><td>(7 名)</td><td>(6 名)</td><td>(+3 名)</td></tr><tr><td>看護師・助産師</td><td>250 名</td><td>247 名</td><td>246 名</td><td>240 名</td><td>232 名</td><td>217 名</td><td>▲33 名</td></tr><tr><td>（うち非常勤）</td><td>(55 名)</td><td>(61 名)</td><td>(61 名)</td><td>(58 名)</td><td>(53 名)</td><td>(49 名)</td><td>(▲6 名)</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>76 名</td><td>75 名</td><td>78 名</td><td>75 名</td><td>71 名</td><td>69 名</td><td>▲7 名</td></tr><tr><td>（うち非常勤）</td><td>(6 名)</td><td>(7 名)</td><td>(6 名)</td><td>(8 名)</td><td>(9 名)</td><td>(11 名)</td><td>(+5 名)</td></tr></table> ○ 医師事務作業補助者採用活動の実績		整備年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	内視鏡システム(上部)	H25	1,144	1,334	1,209	1,177	1,411	X-TV 透視診断装置	H25	372	395	310	289	325	MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）	H25	2,922	2,244	1706	1,741	－	手術用顕微鏡システム	H28	5	6	5	4	4	内視鏡システム(下部)	H29	511	651	519	561	580	ガンマカメラ	H30	74	129	137	170	160	全身用 X 線 CT 装置	R2	15	567	647	3,476	5,494	回診用 X 線撮影装置	R3	－	204	496	508	410	血管撮影装置	R3	－	2	64	54	39	MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）	R5	－	－	－	0	1,984	X-TV 透視診断装置	R6	－	－	－	－	659	項目	元年度初	R2 年度初	R3 年度初	R4 年度初	R5 年度初	R6 年度初	増減 (元→R6)	医師	30 名	30 名	30 名	27 名	31 名	30 名	0 名	（うち非常勤）	(3 名)	(3 名)	(4 名)	(5 名)	(7 名)	(6 名)	(+3 名)	看護師・助産師	250 名	247 名	246 名	240 名	232 名	217 名	▲33 名	（うち非常勤）	(55 名)	(61 名)	(61 名)	(58 名)	(53 名)	(49 名)	(▲6 名)	コメディカル	76 名	75 名	78 名	75 名	71 名	69 名	▲7 名	（うち非常勤）	(6 名)	(7 名)	(6 名)	(8 名)	(9 名)	(11 名)	(+5 名)		
	整備年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度																																																																																																																																										
内視鏡システム(上部)	H25	1,144	1,334	1,209	1,177	1,411																																																																																																																																										
X-TV 透視診断装置	H25	372	395	310	289	325																																																																																																																																										
MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）	H25	2,922	2,244	1706	1,741	－																																																																																																																																										
手術用顕微鏡システム	H28	5	6	5	4	4																																																																																																																																										
内視鏡システム(下部)	H29	511	651	519	561	580																																																																																																																																										
ガンマカメラ	H30	74	129	137	170	160																																																																																																																																										
全身用 X 線 CT 装置	R2	15	567	647	3,476	5,494																																																																																																																																										
回診用 X 線撮影装置	R3	－	204	496	508	410																																																																																																																																										
血管撮影装置	R3	－	2	64	54	39																																																																																																																																										
MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）	R5	－	－	－	0	1,984																																																																																																																																										
X-TV 透視診断装置	R6	－	－	－	－	659																																																																																																																																										
項目	元年度初	R2 年度初	R3 年度初	R4 年度初	R5 年度初	R6 年度初	増減 (元→R6)																																																																																																																																									
医師	30 名	30 名	30 名	27 名	31 名	30 名	0 名																																																																																																																																									
（うち非常勤）	(3 名)	(3 名)	(4 名)	(5 名)	(7 名)	(6 名)	(+3 名)																																																																																																																																									
看護師・助産師	250 名	247 名	246 名	240 名	232 名	217 名	▲33 名																																																																																																																																									
（うち非常勤）	(55 名)	(61 名)	(61 名)	(58 名)	(53 名)	(49 名)	(▲6 名)																																																																																																																																									
コメディカル	76 名	75 名	78 名	75 名	71 名	69 名	▲7 名																																																																																																																																									
（うち非常勤）	(6 名)	(7 名)	(6 名)	(8 名)	(9 名)	(11 名)	(+5 名)																																																																																																																																									

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価						自己 評価	評価委員会の検証					
									評価 提案	意見				
	きかけ ・病院ホームページや地域情報誌などを通じた情報発信 ・薬剤業務補助者の活用による薬剤師の負担軽減及び病棟業務やチーム医療への業務展開の維持・推進 ・薬剤師募集エージェントへの登録 3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 岐阜大学地域医療医学センター、岐阜県総合医療センター等の連携により臨床研修医の受入れ及び指導体制の充実を図り、特に地域医療を志す医師を養成する。 4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進 専門性を高める資格取得を促進し、特定行為看護師、認定看護師等の育成及び活用を図る。 また、新卒看護職員卒後研修やリーダー研修(キャリアアップの階層研修)により看護実践能力の習得を支援する。 5 コメディカルに対する専門研修の実施 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士等の医療技術者について、専門性の向上に向け	職種別		元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度					
		(専門業務) 医師事務作業補助者		1 名	1 名	1 名	1 名	0 名	0 名					
		○ 診療依頼延べ回数												
		元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元→R6)						
		1, 793 回	1, 498 回	1, 452 回	1, 497 回	1, 548 回	1, 527 回	▲266 回						
		○ 臨床研修医の受入状況												
		項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元→R6)					
		岐阜大学医学部附属病院	5 名	3 名	3 名	2 名	4 名	1 名	▲4 名					
		岐阜県総合医療センター	4 名	3 名	3 名	4 名	3 名	4 名	±0 名					
		岐阜市民病院	2 名	4 名	6 名	4 名	8 名	8 名	+6 名					
		計	11 名	10 名	12 名	10 名	15 名	13 名	+2 名					
		○ 認定看護師・認定看護管理者数												
		項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元→R6)					
		認定看護師数	7 名	7 名	7 名	7 名	7 名	7 名	±0 件					
		認定看護管理者	1 名	1 名	0 名	0 名	1 名	1 名	±0 件					
○ コメディカルの研修等派遣数														
職種	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元→R6)							
薬剤師	8 名	1 名	3 名	1 名	2 名	1 名	▲7 名							
検査技師	6 名	0 名	0 名	0 名	9 名	19 名	+13 名							
臨床工学技士	5 名	1 名	0 名	1 名	1 名	0 名	▲5 名							
放射線技師	12 名	0 名	0 名	5 名	5 名	4 名	▲8 名							
リハビリ技師	14 名	1 名	7 名	8 名	4 名	12 名	▲2 名							
管理栄養士	3 名	3 名	3 名	3 名	3 名	1 名	▲2 名							
計	48 名	6 名	13 名	18 名	24 名	37 名	▲11 名							

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価	評価委員会の検証																																																													
			自己 評価	評価 提案	意見																																																											
	た研修等への参加による技術向上や資格取得できる体制を確保する。 特に、理学療法士等のリハビリセンター職員については、疾患別に認定療法士の養成を推進し、セラピストの知識・技術の向上を図る。	＊ 科学的な根拠に基づく医療（EBM）、チーム医療の推進に関する事項 地域包括ケア病棟の利用を推進することで、7：1病棟の平均在院日数の短縮を図り、改善に取り組んでいる。 チーム医療の推進については、分野ごとに委員会を組織し、課題や対策等の検討を行っている。 インシデント・アクシデント発生時の対応等については、医療安全対策室専従看護師が中心となり、各部門との情報収集・意見交換、連絡・調整・相談等を実施している。類似のインシデントが発生した場合は、業務改善策を評価し直し、再度実施するPDCAサイクルを回すことで更なる業務改善に繋げている。また重大なインシデント分析をするに当たっては、他職種連携を図り、専門的な視点から分析することで、より安全なチーム医療を推し進めた。 ITの活用について、ICカード化した診察券とメディカカードとの共通化については、マイナンバーカードを健康保険証として使用することにより、受診履歴・薬剤情報の活用が可能となることから、実施しないこととした。 令和6年度に、遠隔読影システムを導入し、画像を遠隔地の読影事業者へ送信し、読影依頼できる環境を構築した。 ○ 委員会等開催回数 <table><tr><th rowspan="2">委員会等名称</th><th colspan="5">実施回数</th></tr><tr><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th></tr><tr><td>医療安全管理委員会</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>11</td></tr><tr><td>医療安全対策室会議</td><td>45</td><td>58</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr><tr><td>医療安全対策推進担当者会議</td><td>－</td><td>－</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>看護事故防止委員会</td><td>12</td><td>12</td><td>11</td><td>12</td><td>10</td></tr><tr><td>院内感染防止対策委員会</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr><tr><td>感染対策室会議</td><td>57</td><td>51</td><td>31</td><td>38</td><td>44</td></tr><tr><td>新型コロナウイルス対応連絡会議</td><td>57</td><td>51</td><td>50</td><td>20</td><td>0</td></tr><tr><td>褥瘡対策委員会</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr></table> ＊ 医療安全対策、院内感染防止対策に関する事項 - 医療安全対策については、インシデント報告様式（My Web）を利用し、毎月のインシデント・アクシデントのまとめと、インシデントレベル3a及び3b以上（事故報告書）について各会議にて分析・検討し、対策立案を行った。また、分析結果及び改善方策について、「医療安全対策室たより」を発行し、情報の共有化を図っている。 - 医療安全対策地域連携加算1の算定に伴い、病院間で連携し、相互チェックを行っている。 - また、院内全職員を対象にした医療安全推進大会を実施するなど、医療安全管理に関する研修体制の充実を図っている。 院内感染防止対策については、複数の医療職から構成する院内感染対策室を中心に、職員に対する院内防止対策（マニュアル）の改定及び周知徹底・啓発、マニュアルの運用遵守の徹底を図るほか、定期的に感染対策委員会を開催し、感染の状況や感染対策活動の評価等の実施や、感染管理教育の実施やラウンドによる感染対策実施状況のチェ	委員会等名称	実施回数					R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	医療安全管理委員会	12	12	12	12	11	医療安全対策室会議	45	58	12	12	12	医療安全対策推進担当者会議	－	－	6	6	6	看護事故防止委員会	12	12	11	12	10	院内感染防止対策委員会	12	12	12	12	12	感染対策室会議	57	51	31	38	44	新型コロナウイルス対応連絡会議	57	51	50	20	0	褥瘡対策委員会	12	12	12	12	12			
委員会等名称	実施回数																																																															
	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度																																																											
医療安全管理委員会	12	12	12	12	11																																																											
医療安全対策室会議	45	58	12	12	12																																																											
医療安全対策推進担当者会議	－	－	6	6	6																																																											
看護事故防止委員会	12	12	11	12	10																																																											
院内感染防止対策委員会	12	12	12	12	12																																																											
感染対策室会議	57	51	31	38	44																																																											
新型コロナウイルス対応連絡会議	57	51	50	20	0																																																											
褥瘡対策委員会	12	12	12	12	12																																																											

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価	自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																																																																																																				
				評価 提案	意見																																																																																																																																																																																			
		ックを行うなど院内感染防止に努めている。 また、新型コロナウイルス等の感染症流行を受けて、情報共有と院内体制を確認し、手指衛生直接観察の実施、手指消毒自動ディスペンサー増設、手指消毒剤使用量モニタリングにより、手指衛生を強化した。 全室個室化のメリットにより、外部機関に報告を要する院内感染事案はなかった。 ○ インシデント・アクシデント件数 <table><tr><th>項目</th><th>元年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th><th>増減 (元→R6)</th></tr><tr><td>インシデント</td><td>1,626 件</td><td>1,452 件</td><td>1,313 件</td><td>1,229 件</td><td>1,223 件</td><td>1,114 件</td><td>▲512 件</td></tr><tr><td>アクシデント</td><td>19 件</td><td>7 件</td><td>8 件</td><td>9 件</td><td>8 件</td><td>12 件</td><td>▲7 件</td></tr><tr><td>総数</td><td>1,645 件</td><td>1,459 件</td><td>1,321 件</td><td>1,238 件</td><td>1,231 件</td><td>1,126 件</td><td>▲519 件</td></tr></table> ○ 医療安全管理に関する院内研修の実施状況 <table><tr><th rowspan="3">研修名</th><th colspan="14">回数・参加人数</th><th colspan="2" rowspan="2">増減 (元→R6)</th></tr><tr><th colspan="2">元年度</th><th colspan="2">R2 年度</th><th colspan="2">R3 年度</th><th colspan="2">R4 年度</th><th colspan="2">R5 年度</th><th colspan="2">R6 年度</th></tr><tr><th>回数</th><th>人数</th><th>回数</th><th>人数</th><th>回数</th><th>人数</th><th>回数</th><th>人数</th><th>回数</th><th>人数</th><th>回数</th><th>人数</th><th>回数</th><th>人数</th></tr><tr><td>医療安全全職員研修会</td><td>2</td><td>811</td><td>2</td><td>648</td><td>2</td><td>820</td><td>2</td><td>758</td><td>2</td><td>776</td><td>2</td><td>693</td><td>±0</td><td>▲118</td></tr><tr><td>医療機器学習会</td><td>1</td><td>19</td><td>1</td><td>11</td><td>7</td><td>53</td><td>2</td><td>14</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>▲1</td><td>▲19</td></tr><tr><td>薬剤学習会</td><td>3</td><td>66</td><td>3</td><td>43</td><td>1</td><td>16</td><td>1</td><td>臨時</td><td>1</td><td>316</td><td>1</td><td>130</td><td>▲2</td><td>+64</td></tr><tr><td>検査学習会</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>2</td><td>559</td><td>1</td><td>131</td><td>+1</td><td>+131</td></tr><tr><td>臨時研修会</td><td>2</td><td>111</td><td>1</td><td>32</td><td>1</td><td>29</td><td>5</td><td>47</td><td>2</td><td>44</td><td>-</td><td>-</td><td>▲2</td><td>▲111</td></tr><tr><td>放射線研修会</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>1</td><td>339</td><td>+1</td><td>+339</td></tr><tr><td>新人研修</td><td>8</td><td>94</td><td>9</td><td>74</td><td>9</td><td>99</td><td>10</td><td>64</td><td>8</td><td>74</td><td>1</td><td>339</td><td>▲7</td><td>+245</td></tr></table> ○ 感染管理教育の実施状況	項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元→R6)	インシデント	1,626 件	1,452 件	1,313 件	1,229 件	1,223 件	1,114 件	▲512 件	アクシデント	19 件	7 件	8 件	9 件	8 件	12 件	▲7 件	総数	1,645 件	1,459 件	1,321 件	1,238 件	1,231 件	1,126 件	▲519 件	研修名	回数・参加人数														増減 (元→R6)		元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	医療安全全職員研修会	2	811	2	648	2	820	2	758	2	776	2	693	±0	▲118	医療機器学習会	1	19	1	11	7	53	2	14	-	-	-	-	▲1	▲19	薬剤学習会	3	66	3	43	1	16	1	臨時	1	316	1	130	▲2	+64	検査学習会	-	-	-	-	-	-	-	-	2	559	1	131	+1	+131	臨時研修会	2	111	1	32	1	29	5	47	2	44	-	-	▲2	▲111	放射線研修会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	339	+1	+339	新人研修	8	94	9	74	9	99	10	64	8	74	1	339	▲7	+245		
項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元→R6)																																																																																																																																																																																	
インシデント	1,626 件	1,452 件	1,313 件	1,229 件	1,223 件	1,114 件	▲512 件																																																																																																																																																																																	
アクシデント	19 件	7 件	8 件	9 件	8 件	12 件	▲7 件																																																																																																																																																																																	
総数	1,645 件	1,459 件	1,321 件	1,238 件	1,231 件	1,126 件	▲519 件																																																																																																																																																																																	
研修名	回数・参加人数														増減 (元→R6)																																																																																																																																																																									
	元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度																																																																																																																																																																													
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数																																																																																																																																																																										
医療安全全職員研修会	2	811	2	648	2	820	2	758	2	776	2	693	±0	▲118																																																																																																																																																																										
医療機器学習会	1	19	1	11	7	53	2	14	-	-	-	-	▲1	▲19																																																																																																																																																																										
薬剤学習会	3	66	3	43	1	16	1	臨時	1	316	1	130	▲2	+64																																																																																																																																																																										
検査学習会	-	-	-	-	-	-	-	-	2	559	1	131	+1	+131																																																																																																																																																																										
臨時研修会	2	111	1	32	1	29	5	47	2	44	-	-	▲2	▲111																																																																																																																																																																										
放射線研修会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	339	+1	+339																																																																																																																																																																										
新人研修	8	94	9	74	9	99	10	64	8	74	1	339	▲7	+245																																																																																																																																																																										

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価						自己 評価	評価委員会の検証	
									評価 提案	意見

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																							
		自己 評価	評価 提案	意見																																																							
03	1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 病診連携機能を強化するとともに、患者の動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備及び充実を図る。 ・非常勤医師対応の診療科（泌尿器科、眼科等）の充実 ・生理検査（聴力検査、超音波検査）等検査業務の充実 ・手外科のリハビリテーション、ボトックス治療後のリハビリテーション及びがん患者の緩和リハビリテーションの充実 ・発達障がい児に対する個々の能力に応じた感覚統合療法、言語聴覚療法の実施等、専門的かつ継続的な小児リハビリテーションの充実 ・嚥下造影検査（VF）・嚥下内視鏡検査（VE）を活用した摂食機能療法の充実 ・午後5時以降の夜間透析の実施 2 多様な専門職の積極的な活用 高度な専門性を有する職員の外部からの登用に当たり、その専門性に応じた処遇が可能となる柔軟な人事給与制度の構築を図る。 また、定年職員等に対する再雇用制度の活用を強化する。	＊ 診療体制の充実に関する事項 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実については、次のような取組みを行っている。 ・ 病診連携の強化として、開業医・診療所からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の地域連携室で行い、紹介患者のスムーズな診療対応 ・ 救急外来での外国人患者のため、診療科別に翻訳された多言語医療問診票や新たな通訳専用端末の導入及び通訳用タブレットの台数の増による円滑な診療体制の維持 ・ 疾病、病状に応じたきめ細やかな治療として、午後5時以降の夜間透析の取組み ・ 手外科専門医の指導の下、インキュベーターやスプリント作成等を駆使して、手外科患者の早期機能回復への取組み ・ 発達障がい児に対して感覚統合療法、言語聴覚療法を実施するなど、専門的かつ継続的な小児リハビリテーションの提供 ・ 心臓リハビリテーションの機器を整備し、令和5年度より開設し、運用を開始 ・ 嚥下造影検査（VF）・嚥下内視鏡検査（VE）を活用し、摂食嚥下機能評価を実施 多様な専門職の積極的な活用については、次のような取組みを行っている。 ・ 高度な専門性を有する医師について、年俸制を活用し、引き続き登用した。 ・ 定年を迎えた看護師及びコメディカルについて、その専門性を考慮し、定年延長（再雇用）を行った。 ○ 患者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夜間透析</td><td>4 名</td><td>4 名</td><td>4 名</td><td>5 名</td><td>4 名</td></tr> <tr> <td>小児リハビリ</td><td>56 名</td><td>67 名</td><td>67 名</td><td>64 名</td><td>63 名</td></tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td><td>30 名</td><td>22 名</td><td>35 名</td><td>57 名</td><td>48 名</td></tr> <tr> <td>心臓リハビリ</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>21 名</td><td>44 名</td></tr> </tbody> </table> ○ 摂食嚥下機能評価件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造影検査（VF）</td><td>93 名</td><td>75 名</td><td>38 名</td><td>45 名</td><td>50 名</td></tr> <tr> <td>嚥下内視鏡検査（VE）</td><td>93 名</td><td>75 名</td><td>50 名</td><td>55 名</td><td>58 名</td></tr> <tr> <td>摂食嚥下機能評価入院</td><td>2 名</td><td>1 名</td><td>1 名</td><td>0 名</td><td>2 名</td></tr> </tbody> </table>	項目	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	夜間透析	4 名	4 名	4 名	5 名	4 名	小児リハビリ	56 名	67 名	67 名	64 名	63 名	手外科リハビリ	30 名	22 名	35 名	57 名	48 名	心臓リハビリ	—	—	—	21 名	44 名	項目／年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	造影検査（VF）	93 名	75 名	38 名	45 名	50 名	嚥下内視鏡検査（VE）	93 名	75 名	50 名	55 名	58 名	摂食嚥下機能評価入院	2 名	1 名	1 名	0 名	2 名	Ⅲ		心臓リハビリが開始された。
項目	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度																																																						
夜間透析	4 名	4 名	4 名	5 名	4 名																																																						
小児リハビリ	56 名	67 名	67 名	64 名	63 名																																																						
手外科リハビリ	30 名	22 名	35 名	57 名	48 名																																																						
心臓リハビリ	—	—	—	21 名	44 名																																																						
項目／年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度																																																						
造影検査（VF）	93 名	75 名	38 名	45 名	50 名																																																						
嚥下内視鏡検査（VE）	93 名	75 名	50 名	55 名	58 名																																																						
摂食嚥下機能評価入院	2 名	1 名	1 名	0 名	2 名																																																						
05	岐阜県地域医療構想に基づき、岐阜県の中山間地域におけるへき地中核病院として、「生活の場の医療	＊ へき地医療の拠点的功能の充実に関する事項 飛騨圏域南部の基幹病院として、生活の場の医療（※）の提供に取り組むとともに、不採算部門となりやすい救急・小児・産科医療の提供維持に努めた。	Ⅳ		リハビリテーションの更なる充実を期待する（内容、プログラム）。																																																						

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点（●）、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																	
		自己 評価	評価 提案	意見																																																			
	(※)」を提供するとともに、産科、小児科、救急医療等政策的な医療提供体制の維持・推進を図る。 ※生活の場の医療:この地でしか医療が受けられない人のための医療や、生活している場所でしか受けられない医療	※生活の場の医療：この地でしか医療が受けられない人や、生活している場所でしか受けられない医療 下呂市が実施する産婦支援事業（産後ケア、産婦健診助成事業、母乳育児支援事業）に協力した。また、下呂市から乳幼児健診業務を受託するなど、地域連携による周産期の支援体制づくりに寄与した。					産科、小児科、政策的な医療の提供を図るとあるが、医師の引上げ等が実施され、現実的に不可能である。中期目標を上回っているとは思えません。																																																
08	1 臨床研修医の養成及び県内定着化の促進 岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、その他の県内臨床研修病院等と連携し、当院の特徴を生かした臨床研修プログラムにより、臨床研修医の資質向上を図る。 また、初期臨床研修期間終了後、引き続き当院での勤務が継続できるよう、定着化の推進を図る。 さらに、他の臨床研修病院からの臨床研修医を積極的に受け入れ、地域医療を目指す医師の養成に努める。 2 専攻医の育成等 専門研修プログラムの連携施設として基幹施設からの専攻医の受入れを積極的に行い、専門医研修に協力する。	＊ 地域医療を目指す医師の養成に関する事項 協力型の臨床研修病院として岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等から地域医療研修を行う臨床研修医を受け入れ、地域医療を目指す医師の養成に努めた。 また、基幹型の臨床研修病院として、岐阜大学地域医療医学センター、岐阜県総合医療センター、南ひだせせらぎ病院及び小坂診療所等との連携を密にしながら、当院独自の臨床研修プログラムを作成し、充実した研修を推進している。 ○ 初期研修医及び後期（専門）研修医の受入数 <table><tr><th>項目</th><th>元年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th><th>増減 (元-R6)</th></tr><tr><td>初期研修医</td><td>11 名</td><td>10 名</td><td>12 名</td><td>10 名</td><td>14 名</td><td>13 名</td><td>+2 名</td></tr><tr><td>後期（専門）研修医</td><td>4 名</td><td>8 名</td><td>8 名</td><td>5 名</td><td>6 名</td><td>5 名</td><td>+1 名</td></tr></table> ＊ 臨床研修医の県内定着化の促進に関する事項 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等との密接な連携のもとに当院を実践フィールドとし、地域医療を担う医師の養成を実施した。 当院を見学希望する医学生に対し、積極的に地域医療に関する説明を行った。初期臨床研修医数も年々増えてきている。 平成 29 年度及び令和 3 年度に常勤職員として採用した初期臨床研修医 2 名については、当院の内科として引き続き勤務している。 ○ 初期臨床研修医数（各年 3. 31 時点） <table><tr><th></th><th>元年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th><th>増減 (元-R6)</th></tr><tr><td>研修医数</td><td>4 名</td><td>4 名</td><td>4 名</td><td>4 名</td><td>4 名</td><td>4 名</td><td>±0 名</td></tr><tr><td>うち当該年度の新規採用数</td><td>2 名</td><td>2 名</td><td>2 名</td><td>2 名</td><td>2 名</td><td>2 名</td><td>±0 名</td></tr></table>				項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)	初期研修医	11 名	10 名	12 名	10 名	14 名	13 名	+2 名	後期（専門）研修医	4 名	8 名	8 名	5 名	6 名	5 名	+1 名		元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)	研修医数	4 名	4 名	4 名	4 名	4 名	4 名	±0 名	うち当該年度の新規採用数	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	±0 名	IV	医学生の病院見学者増加を医師確保につながるとよい。
項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)																																																
初期研修医	11 名	10 名	12 名	10 名	14 名	13 名	+2 名																																																
後期（専門）研修医	4 名	8 名	8 名	5 名	6 名	5 名	+1 名																																																
	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)																																																
研修医数	4 名	4 名	4 名	4 名	4 名	4 名	±0 名																																																
うち当該年度の新規採用数	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	±0 名																																																

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価							自己 評価	評価委員会の検証																																																																																																																									
										評価 提案	意見																																																																																																																								
		<table><tr><td>上記採用者のうち現在の勤務地が岐阜県内である者</td><td>2 名</td><td>1 名</td><td>1 名</td><td>0 名</td><td>2 名</td><td>2 名</td><td>±0 名</td></tr></table> ○ 病院見学者数 (医学生) <table><tr><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td></tr><tr><td>8 名</td><td>16 名</td><td>17 名</td><td>23 名</td><td>24 名</td></tr></table>							上記採用者のうち現在の勤務地が岐阜県内である者	2 名	1 名	1 名	0 名	2 名	2 名	±0 名	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	8 名	16 名	17 名	23 名	24 名																																																																																																									
上記採用者のうち現在の勤務地が岐阜県内である者	2 名	1 名	1 名	0 名	2 名	2 名	±0 名																																																																																																																												
R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度																																																																																																																															
8 名	16 名	17 名	23 名	24 名																																																																																																																															
09	1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ 看護学生の病院実習の受入体制を充実するとともに、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師等のコメディカルを目指す学生を積極的に受け入れる。 2 救命救急士の病院実習等地域医療従事者への研修の実施及び充実 救急救命士等の病院実習の積極的な受入れ及び研修体制の充実を図る。	* 地域医療従事者への教育に関する事項 県内の医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生、コメディカルを目指す学生の実習の受入体制を整備し、医学生の実習受入れはなかったものの、看護学生、コメディカル学生の実習について積極的に実習を受け入れている。 また、平成 28 年度から開始した特別支援学校生徒の実習について、受入れを継続している。加えて、講師として医療スタッフを看護専門学校へ派遣している。 地域医療への協力・支援として、下呂市消防本部と連携し、救急救命士の病院実習を受け入れている。 ○ 看護学生の実習受入実績 <table><tr><td>学校名</td><td>元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減 (元-R6)</td></tr><tr><td>下呂看護専門学校</td><td>75 名</td><td>75 名</td><td>78 名</td><td>71 名</td><td>64 名</td><td>43 名</td><td>▲32 名</td></tr><tr><td>岐阜県立看護大学</td><td>7 名</td><td>7 名</td><td>6 名</td><td>4 名</td><td>4 名</td><td>6 名</td><td>▲1 名</td></tr><tr><td>その他</td><td>2 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>1 名</td><td>1 名</td><td>▲1 名</td></tr><tr><td>計</td><td>84 名</td><td>82 名</td><td>84 名</td><td>75 名</td><td>69 名</td><td>50 名</td><td>▲34 名</td></tr></table> ○ コメディカル等の実習受入実績 <table><tr><td>職種</td><td>元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減 (元-R6)</td></tr><tr><td>理学療法士</td><td>7 名</td><td>6 名</td><td>11 名</td><td>7 名</td><td>6 名</td><td>5 名</td><td>▲2 名</td></tr><tr><td>作業療法士</td><td>2 名</td><td>1 名</td><td>4 名</td><td>0 名</td><td>2 名</td><td>3 名</td><td>+1 名</td></tr><tr><td>言語聴覚士</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>1 名</td><td>+1 名</td></tr><tr><td>薬剤師</td><td>1 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>1 名</td><td>1 名</td><td>0 名</td><td>▲1 名</td></tr><tr><td>臨床検査技師</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>1 名</td><td>+1 名</td></tr><tr><td>管理栄養士</td><td>1 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>2 名</td><td>0 名</td><td>▲1 名</td></tr><tr><td>社会福祉士</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>±0 名</td></tr><tr><td>医療事務</td><td>1 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>▲1 名</td></tr><tr><td>計</td><td>12 名</td><td>7 名</td><td>15 名</td><td>8 名</td><td>11 名</td><td>10 名</td><td>▲2 名</td></tr></table>							学校名	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)	下呂看護専門学校	75 名	75 名	78 名	71 名	64 名	43 名	▲32 名	岐阜県立看護大学	7 名	7 名	6 名	4 名	4 名	6 名	▲1 名	その他	2 名	0 名	0 名	0 名	1 名	1 名	▲1 名	計	84 名	82 名	84 名	75 名	69 名	50 名	▲34 名	職種	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)	理学療法士	7 名	6 名	11 名	7 名	6 名	5 名	▲2 名	作業療法士	2 名	1 名	4 名	0 名	2 名	3 名	+1 名	言語聴覚士	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名	+1 名	薬剤師	1 名	0 名	0 名	1 名	1 名	0 名	▲1 名	臨床検査技師	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名	+1 名	管理栄養士	1 名	0 名	0 名	0 名	2 名	0 名	▲1 名	社会福祉士	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	±0 名	医療事務	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	▲1 名	計	12 名	7 名	15 名	8 名	11 名	10 名	▲2 名	III		地元の看護学生の実習受入減に対しては対策が必要。
学校名	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)																																																																																																																												
下呂看護専門学校	75 名	75 名	78 名	71 名	64 名	43 名	▲32 名																																																																																																																												
岐阜県立看護大学	7 名	7 名	6 名	4 名	4 名	6 名	▲1 名																																																																																																																												
その他	2 名	0 名	0 名	0 名	1 名	1 名	▲1 名																																																																																																																												
計	84 名	82 名	84 名	75 名	69 名	50 名	▲34 名																																																																																																																												
職種	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)																																																																																																																												
理学療法士	7 名	6 名	11 名	7 名	6 名	5 名	▲2 名																																																																																																																												
作業療法士	2 名	1 名	4 名	0 名	2 名	3 名	+1 名																																																																																																																												
言語聴覚士	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名	+1 名																																																																																																																												
薬剤師	1 名	0 名	0 名	1 名	1 名	0 名	▲1 名																																																																																																																												
臨床検査技師	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名	+1 名																																																																																																																												
管理栄養士	1 名	0 名	0 名	0 名	2 名	0 名	▲1 名																																																																																																																												
社会福祉士	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	±0 名																																																																																																																												
医療事務	1 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	▲1 名																																																																																																																												
計	12 名	7 名	15 名	8 名	11 名	10 名	▲2 名																																																																																																																												

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点 (●))、法人の自己評価						評価委員会の検証																																																																																												
								自己 評価	評価 提案	意見																																																																																										
		○ 特別支援学校生徒の実習受入実績 <table><tr><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td></tr><tr><td>1 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>1 名</td><td>0 名</td></tr></table> ○ 下呂看護専門学校への講師派遣 <table><tr><td>職種</td><td>元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減 (元-R6)</td></tr><tr><td>医師、歯科医師</td><td>10 名</td><td>8 名</td><td>8 名</td><td>6 名</td><td>8 名</td><td>7 名</td><td>▲3 名</td></tr><tr><td>看護師</td><td>7 名</td><td>8 名</td><td>8 名</td><td>8 名</td><td>7 名</td><td>9 名</td><td>+2 名</td></tr><tr><td>コメディカル</td><td>6 名</td><td>5 名</td><td>5 名</td><td>5 名</td><td>6 名</td><td>5 名</td><td>▲1 名</td></tr><tr><td>計</td><td>23 名</td><td>21 名</td><td>21 名</td><td>19 名</td><td>21 名</td><td>21 名</td><td>▲2 名</td></tr></table> ○ 救急救命士の実習受入実績 <table><tr><td>実習項目</td><td>元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減 (元-R6)</td></tr><tr><td>就業前教育実習</td><td>0 名</td><td>3 名</td><td>2 名</td><td>0 名</td><td>2 名</td><td>2 名</td><td>+2 名</td></tr><tr><td>再教育実習</td><td>24 名</td><td>24 名</td><td>27 名</td><td>26 名</td><td>24 名</td><td>24 名</td><td>±0 名</td></tr><tr><td>薬剤投与実習</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>0 名</td><td>2 名</td><td>2 名</td><td>+2 名</td></tr><tr><td>計</td><td>24 名</td><td>27 名</td><td>29 名</td><td>26 名</td><td>28 名</td><td>28 名</td><td>+4 名</td></tr></table>						R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	1 名	0 名	0 名	1 名	0 名	職種	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)	医師、歯科医師	10 名	8 名	8 名	6 名	8 名	7 名	▲3 名	看護師	7 名	8 名	8 名	8 名	7 名	9 名	+2 名	コメディカル	6 名	5 名	5 名	5 名	6 名	5 名	▲1 名	計	23 名	21 名	21 名	19 名	21 名	21 名	▲2 名	実習項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)	就業前教育実習	0 名	3 名	2 名	0 名	2 名	2 名	+2 名	再教育実習	24 名	24 名	27 名	26 名	24 名	24 名	±0 名	薬剤投与実習	0 名	0 名	0 名	0 名	2 名	2 名	+2 名	計	24 名	27 名	29 名	26 名	28 名	28 名	+4 名			
R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度																																																																																																
1 名	0 名	0 名	1 名	0 名																																																																																																
職種	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)																																																																																													
医師、歯科医師	10 名	8 名	8 名	6 名	8 名	7 名	▲3 名																																																																																													
看護師	7 名	8 名	8 名	8 名	7 名	9 名	+2 名																																																																																													
コメディカル	6 名	5 名	5 名	5 名	6 名	5 名	▲1 名																																																																																													
計	23 名	21 名	21 名	19 名	21 名	21 名	▲2 名																																																																																													
実習項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)																																																																																													
就業前教育実習	0 名	3 名	2 名	0 名	2 名	2 名	+2 名																																																																																													
再教育実習	24 名	24 名	27 名	26 名	24 名	24 名	±0 名																																																																																													
薬剤投与実習	0 名	0 名	0 名	0 名	2 名	2 名	+2 名																																																																																													
計	24 名	27 名	29 名	26 名	28 名	28 名	+4 名																																																																																													
25	業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標期間の各年度の損益計算において、減価償却前収支の黒字化を早期に達成し、中期目標期間の最終年度までに経常収支比率 100%以上、医業収支比率 100%以上及び職員給与費対医業収益比率 75%以下を達成する。	* 経常収支比率、職員給与費対医業収益比率に関する事項 「中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を 100%以上、医業収支比率を 100%以上及び職員給与費対医業収益比率を 75%以下」という目標については、今期において達成が困難であるため、次期以降、引き続き改善に努める。 <table><tr><td>指標</td><td>達成目標 (中期目標・中期計画)</td><td>元年度</td><td>R2 年度</td><td>R3 年度</td><td>R4 年度</td><td>R5 年度</td><td>R6 年度</td><td>増減 (元-R6)</td></tr><tr><td>経常収支比率</td><td>100 %以上</td><td>86.0%</td><td>103.6%</td><td>98.8%</td><td>94.7%</td><td>79.1%</td><td>79.2%</td><td>▲6.8 P</td></tr><tr><td>医業収支比率</td><td>100 %以上</td><td>88.2%</td><td>106.8%</td><td>101.5%</td><td>97.3%</td><td>81.1%</td><td>81.4%</td><td>▲6.8 P</td></tr><tr><td>職員給与費対医業収益比率</td><td>75 %以下</td><td>94.5%</td><td>93.9%</td><td>106.9%</td><td>103.3%</td><td>109.4%</td><td>103.1%</td><td>+8.6 P</td></tr></table>						指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)	経常収支比率	100 %以上	86.0%	103.6%	98.8%	94.7%	79.1%	79.2%	▲6.8 P	医業収支比率	100 %以上	88.2%	106.8%	101.5%	97.3%	81.1%	81.4%	▲6.8 P	職員給与費対医業収益比率	75 %以下	94.5%	93.9%	106.9%	103.3%	109.4%	103.1%	+8.6 P	II		人事計画や診療内容を含め、人件費について精査が必要。																																																						
指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減 (元-R6)																																																																																												
経常収支比率	100 %以上	86.0%	103.6%	98.8%	94.7%	79.1%	79.2%	▲6.8 P																																																																																												
医業収支比率	100 %以上	88.2%	106.8%	101.5%	97.3%	81.1%	81.4%	▲6.8 P																																																																																												
職員給与費対医業収益比率	75 %以下	94.5%	93.9%	106.9%	103.3%	109.4%	103.1%	+8.6 P																																																																																												

項目 No.	中期計画	中期目標期間に係る中期計画の業務実績 (今後の課題・問題点(●))、法人の自己評価	評価委員会の検証																										
			自己 評価	評価 提案	意見																								
27	岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携 医師の診療応援や医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の人事交流等、岐阜県及び岐阜県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	＊ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項 県総合医療センターからは、内科については、年間を通じて四半期ごとの専攻医1名を常勤で受け入れ、常勤医師のいない診療科については、応援医の派遣を受けている。ほかに、視能訓練士(年間)の派遣を受けた。一方、当院から県総合医療センターへは、内科医師を出向(期間限定)させた。 令和3年度末に県総合医療センターで定年を迎えた技師長1名について、その専門性を考慮し、当院で非常勤職員として雇用した。	Ⅲ		内科以外の診療科においても、県総合医療センターとの連携が期待される。																								
30	法人が負担する債務の償還に関する事項 法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にやっていく。	＊ 債務の償還に関する事項 当法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施している。 ○ 債務の償還状況 単位：百万円 <table><tr><th>項目</th><th>元年度</th><th>R2 年度</th><th>R3 年度</th><th>R4 年度</th><th>R5 年度</th><th>R6 年度</th><th>増減(元→R6)</th></tr><tr><td>移行前地方債償還債務償還額</td><td>75</td><td>78</td><td>80</td><td>57</td><td>59</td><td>48</td><td>▲27</td></tr><tr><td>長期借入金償還額</td><td>181</td><td>187</td><td>190</td><td>271</td><td>272</td><td>289</td><td>+108</td></tr></table>	項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(元→R6)	移行前地方債償還債務償還額	75	78	80	57	59	48	▲27	長期借入金償還額	181	187	190	271	272	289	+108	Ⅲ		経営改善のさらなる努力を期待する。
項目	元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	増減(元→R6)																						
移行前地方債償還債務償還額	75	78	80	57	59	48	▲27																						
長期借入金償還額	181	187	190	271	272	289	+108																						